



Kawabata Yasunari & Collection
120th anniversary of his birth

The Nobel laureate in literature was
also a collector of masterpiece paintings
from all ages and cultures,
literary legends' calligraphy...

9[±]
/14



11^{月・振休}
/4

生誕120年
文豪川端康成と

美のコレクション展

古今東西の名画、文豪たちの書——幽遠を見つめる眼

姫路市制施行130周年記念・神戸新聞播磨製作センター完成記念

会場=姫路市立美術館・姫路文学館

どちらからでもご覧いただけます。

 姫路市立美術館
Himeji City Museum of Art

 姫路文学館
HIMEJI CITY MUSEUM OF LITERATURE

 130
HIMEJI

神戸新聞
播磨製作
センター完成

上=ロダン《女の手》を見る川端康成(撮影:林忠彦)

下=東山魁夷《北山初雪》|1968年 公益財団法人川端康成記念会蔵

日本人初のノーベル文学賞作家・川端康成。国宝を含む



国宝 池大雅《十便図》より「釣便」|1771年
*会期中ページ替えを行います。

姫路市立美術館

川端康成は、きわめて多彩な美術品を収集していたことでも知られています。そのコレクションは、国宝に指定される池大雅・与謝蕪村《十便十宜図》をはじめ、土偶・埴輪や仏像などの古美術から東山魁夷・古賀春江・草間彌生といった画家たちによる近現代日本絵画、黒田辰秋・北大路魯山人らの工芸品やロダン・ピカソといった西洋美術にまで至る幅広いものです。とりわけ戦後を代表する日本画家 東山魁夷とは深い交流があり、そのタブロー作品に加え、スケッチや習作、川端文学を彩った書籍装丁や挿絵の原画など、数多くの東山作品も含まれています。

美術館会場では、川端旧蔵の美術品約140点を5章に分けて紹介し、彼が愛した美の世界とその審美眼に迫ります。



土偶「女子」|縄文時代晩期



埴輪「乙女頭部」|古墳時代(5-6世紀)

川端と古美術

国宝《十便十宜図》の画帖をはじめ、土偶、埴輪、仏像、朝鮮陶磁、池大雅・尾形光琳・中国清時代の画人 石濤や金農による掛け幅など古美術を紹介します。



東山魁夷『古都』
(光悦垣直筆装)|1973年



東山魁夷《京の春》
(『古都』挿絵原画)|1973年★



東山魁夷《京の秋》
(『古都』挿絵原画)|1973年★



小林古径《双鶴図》(『千羽鶴』装丁原画)|1952年

川端文学と装丁画

豪華本『古都』のために東山魁夷が手掛けた琳派風の装丁や挿絵、単行本『千羽鶴』用に小林古径が描いた鶴図など、川端文学の美的世界を体現した装丁原画類を紹介します。

川端と近現代工芸

人間国宝 黒田辰秋による漆芸や木工、北大路魯山人・富本憲吉・酒井田柿右衛門らによる陶器など、日本の近現代工芸を紹介します。



北大路魯山人《赤絵牡丹筒向付》



富本憲吉《色絵灰皿》



黒田辰秋《朱漆六稜甕》|1965-74年頃



草間彌生《不知火》|1955年



古賀春江《そこに在る》|1933年



熊谷守一《蟻》|1966年

川端と近現代絵画

親交の深かった東山魁夷や夭折のシュルレアリスム画家 古賀春江、川端がその才を見出した草間彌生など、近現代日本を代表する画家の絵画作品を紹介します。

川端と西洋美術

川端が仕事机に置いて愛でたロダンの彫刻ほか、ピカソやルノアールの素描、川端をモデルにした作品も制作した画家クレランによるリトグラフ等、西洋美術を紹介します。



ピエール・ウジェーヌ・クレラン
《雪の中の詩人》|1969年



オーギュスト・ロダン
《女の手》

川端コレクション約280点を、美術館＋文学館で一挙公開！

姫路文学館

名作『伊豆の踊子』や『雪国』で知られる川端康成は、1899(明治32)年に大阪に生まれました。中学の時に小説家を志し、先輩 菊池寛や横光利一ら同時代の新進の作家達と交わりながら、1926(大正15)年に処女創作集『感情裝飾』を刊行。1968(昭和43)年には日本人で初めてノーベル文学賞を受賞しました。『名人』『山の音』『眠れる美女』などの意欲作も著しながら、幽玄なる日本の美意識を追求した小説家です。

文学館会場では、その作品を紹介するとともに直筆原稿や書幅、近年自邸で新たに発見された、初恋の人 伊藤初代宛の未投函書簡などを展示します。そして、厳選して収集された古典資料、および川端が愛した国宝 浦上玉堂《凍雲飾雪図》を公開し、日本の伝統美へのまなざしも紹介。さらに、川端が所持した、夏目漱石・太宰治・谷崎潤一郎・三島由紀夫らの書幅や書簡を展示し、近代日本を代表する文豪たちの交流を紹介します。

文豪・川端康成

初期の代表作『伊豆の踊子』や、昭和初期の浅草の風俗を活写して人気を博した『浅草紅団』、ノーベル文学賞受賞に際して高く評価された『雪国』や『古都』などに触れながら、作品に深い影響をあたえた家族との死別、青年期の初恋など、作家の軌跡をたどります。



ノーベル賞賞状 | 1968年



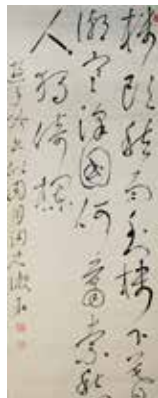
川端康成『雪国抄』(冒頭)

文豪たちの息づかい

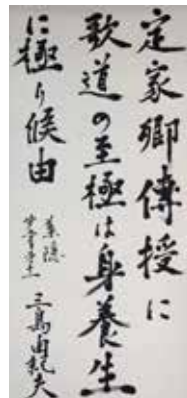
膨大な川端コレクションの一角をなす作家たちの書幅や書簡。川端が敬愛した徳田秋声や武者小路実篤、恩人の菊池寛、盟友横光利一、若き同志三島由紀夫、その活躍を後押しした林美美子のほか、夏目漱石や太宰治、谷崎潤一郎など、日本近代文学を代表する作家たちの書跡が一堂に会します。



武者小路実篤《伊香保風景》
昭和20年代



夏目漱石《五言絶句》
1914年



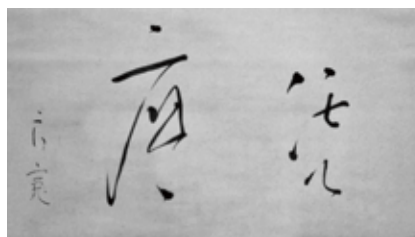
三島由紀夫《葉隠》



国宝 浦上玉堂《凍雲飾雪図》 | 江戸時代(19世紀初)
*展示期間は下記のとおり。それ以外は複製を展示。
9月14日(土)~16日(月・祝)、10月29日(火)~11月4日(月・振休)

川端の 見つめた伝統

『源氏物語』や『古今和歌集』、禅僧の言葉などに触れながら、ノーベル文学賞受賞記念講演「美しい日本の私」を通じて川端が世界へ発信した日本の伝統美を紹介します。



良寛《感虔》 | 江戸時代



与謝野晶子《源氏物語礼賛》
(巻頭 桐壺) | 1939年

文豪が愛した空間

国宝《凍雲飾雪図》や渡辺華山の文人画、筆や硯などの愛用品の数々を展示し、川端が愛した美の空間を現出させます。



渡辺華山《桃花山禽双孔雀図》 | 1827年

川端コレクション と播磨

播磨に生まれた高僧 大燈国師、伊藤初代と共にカフェで働いた小説家 佐多稲子、岸田劉生ら芸術家たちとも交流を深めた哲学者 和辻哲郎。川端コレクションから見えてくる播磨の文芸・歴史を紹介します。



佐多稲子と伊藤初代



岸田劉生《童女像》 | 1923年★

姫路文学館

関連イベント

[会場]

- 姫路市立美術館
- 姫路文学館
- 姫路市市民会館

最新の情報はHPをご覧ください。

- 🎨 オープニング・ギャラリートーク
9月14日(土) 11:00-
講師: 水原園博 氏(川端康成記念会東京事務所代表)
会場: 姫路市立美術館 企画展示室
参加費: 無料 ※ただし本展覧会の観覧券が必要です。

- 📖 記念講演会「時代のうねりと川端康成」
9月14日(土) 14:00-15:30
講師: 水原園博 氏(川端康成記念会東京事務所代表)
会場: 姫路文学館 北館3階 講堂
参加費: 無料 | 定員: 150人(先着順)

川端康成日曜講座
参加費: 無料 | 定員: 美術館会場は80人。
文学館会場は150人。ともに先着順。

- 🎨 日曜講座①「川端康成 その人とふるさと」
9月22日(日) 14:00-15:30 ※開場は13:30
講師: 今井瞳良 氏(茨木市立川端康成文学館学芸員)
会場: 姫路市立美術館 2階 講堂

- 📖 日曜講座②「川端康成、その初恋の秘密」
9月29日(日) 14:00-15:30 ※開場は13:30
講師: 森本 稔 氏(川端康成学会特任理事)
会場: 姫路文学館 北館3階 講堂

- 🎨 日曜講座③「国宝〈十便十宜図〉と
国宝〈凍雲節雪図〉」
10月20日(日) 14:00-15:30 ※開場は13:30
講師: 守安 収 氏(岡山県立美術館館長)
会場: 姫路市立美術館 2階 講堂

- 🎨 日曜講座④「東山魁夷芸術の魅力」
10月27日(日) 14:00-15:30 ※開場は13:30
講師: 松浦千栄子 氏(長野県信濃美術館東山魁夷館学芸員)
会場: 姫路市立美術館 2階 講堂

- 📖 日曜講座⑤「川端康成と横光利一」
11月3日(日) 14:00-15:30 ※開場は13:30
講師: 黒田大河 氏(大阪樟蔭女子大学教授)
会場: 姫路文学館 北館3階 講堂

- 🎨 こどもギャラリーツアー
9月28日(土)、10月19日(土) 各日11:00-
対象: 小・中学生のお子様とその保護者
講師: 姫路市立美術館学芸員
会場: 姫路市立美術館 企画展示室
参加費: 無料 ※ただし本展覧会の観覧券が必要です。

- 📖 展示解説会
11月2日(土) 14:00-
講師: 姫路文学館学芸員
会場: 姫路文学館 北館3階 講堂
参加費: 無料 | 定員: 150名(先着順)

- 🎨 ミュージアム朗読会+演奏会
「川端文学と四重奏のしらべ」
10月5日(土) 11:00-14:00 ※2回とも内容は同様
朗読: 土方淳子 氏 | 演奏: カルテット Poco a Poco
会場: 姫路市立美術館 企画展示室
参加費: 無料 ※ただし本展覧会の観覧券が必要です。

- 🎤 朗読であじわう川端康成
播磨出身の声優・速水奨さんが、
『雪国』ほか川端康成の名作を朗読します。
10月13日(日) 13:30-15:00 ※開場は12:30
会場: 姫路市市民会館 大ホール
定員: 800人(事前申込・申込多数の場合抽選/
1申し込みにつき2名まで)
参加費: 無料 ※ただし本展覧会の観覧券が必要です。
申込方法: 往復ハガキ・文学館ホームページ
(参加申込フォーム)のいずれかで、郵便番号、
氏名(ふりがな)、電話番号、「速水奨朗読会希望」を
明記し、姫路文学館まで。締切: 9月18日(水)必着。

- ◎休館日=月曜日(ただし9/16、9/23、10/14、11/4は開館)、
9/17(火)、9/24(火)、10/15(火)
- ◎開館時間=午前10時-午後5時(入場は午後4時30分まで)
- ◎会場=姫路市立美術館 企画展示室/姫路文学館 企画展示室・特別展示室
- ◎2館分観覧料=一般:1,400円(1,120円) | 大学・高校生:600円(480円)
中学・小学生:300円(240円) * ()内は前売・20人以上の団体の料金

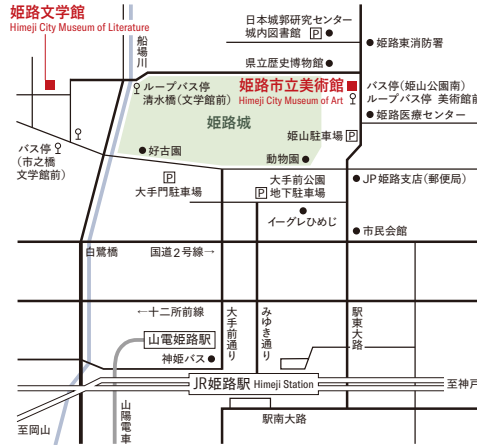
- ◎主催=姫路市立美術館、姫路文学館、神戸新聞社
- ◎監修=川端香男里(公益財団法人川端康成記念会理事長)、
平山三男(同評議員)、齋藤進(東山家秘書)
- ◎企画=水原園博(公益財団法人川端康成記念会東京事務所代表)
- ◎協力=MBS
- ◎後援=NHK神戸放送局、サンテレビジョン、播磨時報社、播磨リビング新聞社、
姫路ケーブルテレビ、姫路シティFM21、ラジオ関西

- *前売券取扱い場所(9月13日まで): 姫路市立美術館友の会、姫路文学館、
兵庫県立歴史博物館、中井三成堂
- *前売券および当日券取扱い場所:
チケットぴあ(Pコード:769-902)、ローソンチケット(Lコード:53734)、
セブン-イレブン、イープラス、CNプレイガイドほか、コンビニエンスストア

「文豪とアルケミスト」パネル展示
展覧会会期中、姫路文学館(北館)において、
ゲーム「文豪とアルケミスト」のパネル展示を行います。
ゲームに登場する、川端康成、横光利一、夏目漱石と
写真撮影ができます。*ただし本展覧会の観覧券が必要です。

- [美術館同時開催]
- 常設展示室
國富奎三コレクション室「近代フランス絵画 モネからマティスまで」
- コレクションギャラリー
「姫路市民美術塾」9月7日(土)-11月4日(月・振休)

[他館イベントのご案内]
姫路市書写の里・美術工芸館 079-267-0301
開館25周年特別展示「兵庫県工芸美術作家協会姫路展」
2019年9月7日(土)-29日(日)



川端康成
(「文豪とアルケミスト」より)

姫路市立美術館と
姫路文学館の間は
徒歩10分。
ループバス4分
(美術館→文学館方向のみ)。

美 姫路市立美術館 Himeji City Museum of Art

兵庫県姫路市本町68-25 | 68-25 Honmachi, Himeji, Hyōgo TEL 079-222-2288
[アクセス] JR・山陽電車姫路駅より、神姫バス7または8番乗り場から [3、4、5、61、62、64、81、
82、84、86番] 乗車約8分、「姫山公園南・医療センター・美術館前」下車すぐ。城周辺
観光ループバスで乗車6分、「美術館前」下車すぐ。姫路駅より徒歩約20分。*美術館には
駐車場がありませんので近隣の駐車場(有料)をご利用ください。

<http://www.city.himeji.lg.jp/art.html>



姫路文学館 HIMEJI CITY MUSEUM OF LITERATURE

兵庫県姫路市山野井町84 | 84 Yamanoi-cho, Himeji, Hyōgo TEL 079-293-8228
[アクセス] JR・山陽電鉄姫路駅より、神姫バス9・10・17・18番乗り場から乗車6分、「市之橋
文学館前」下車、北へ徒歩4分。城周辺観光ループバスで乗車10分、「清水橋(文学館前)」
下車、西へ徒歩3分。山陽自動車道姫路東I.C.あるいは姫路西I.C.下車約20分。
姫路バイパス中地ランプ下車約15分。

<http://www.himejibungakukan.jp>



川端康成《自画像》1916年



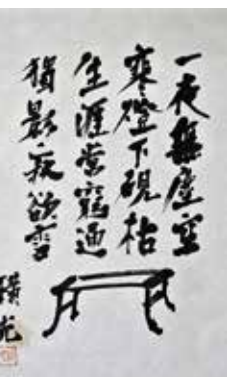
伊藤初代(14歳)



国宝 与謝蕪村《十宜図》より「秋」
1771年



東山魁夷《月影》1966年



横光利一《一夜寒燈》



朗読: 速水 奨 氏(声優)
兵庫県高砂市出身。「ヒプノスマイク」
(神宮寺取置)ほか、アニメーション、
洋画、CMなど数多くの作品に出演。